

令和5年度からスピード感をもって有益な情報をお伝えするため月刊で発行します

## 第75回信州辰野ほたる祭り開催

## 地域経済振興部門

6月10日(土)から18日(日)の9日間にかけて開催された4年ぶりに入場制限のない辰野ほたる祭り。商工会は実行委員会の商工イベント部会事務局として、2つの企画に取り組みました。

ひとつは地元商業者を中心に露店やキッチンカーなどの営業形態で一時出店いただく「ホタルイチ」です。街商担当部会とも協調して出店エリアや出店条件を定めることで、露天商との共存共栄のもとご商売いただく機会として企画運営しました。商工会の青年部、女性部も出店し、焼き鳥、焼きそば、五平餅にポップコーンなどを販売し、地域の皆様に喜ばれ大きな売上となりました。ありがとうございました。



今年は町外からの出店者を含め合計24店舗が出店しましたが、来年度はもっと町内事業者にご出店いただきたいと思います。なお出店料をいただく形を取りましたが、民間地の借用料や電気工事費の一部などに使用させていただきました。来年度に向けては、もっと多くの事業者から参加要望が寄せられることを願いつつ、出店したい事業者が安心安全に出店できる企画として定着させていきたいと考えています。

もうひとつ取り組んだ企画はデジタルスタンプラリーです。一時出店いただく事業者だけが営業の機会を得られるのでは、現在それぞれお店を構えていらっしゃる既存店さんの売上拡大の機会につながりません。この課題を解決するための仕掛けとしてスマホを使ったスタンプラリーを展開しました。下辰野商店街だけでなく、小野や北大出など町内の全域にわたって、飲食店・小売店はもちろん、理美容・宿泊・タクシー、日帰り温泉・美術館・スポーツ施設など、多種多様な事業者・施設等130店舗にご参加いただきました。「ホタルイチ」に出店した露店やキッチンカーも対象でした。街商組合露店商との差別化ポイントになったと考えています。

ラリー参加者は異なる参加店を利用してスタンプ3個を集めて応募します。総額100万円の懸賞(ギフト券)に対して700名弱の応募がありました。スタンプ3個で応募1回ですので、推測される店舗の利用数からは、ほたる祭りにおける購買力の高さがうかがい知れます。

商工イベント部会としては、このスタンプラリーがほたる祭りに来訪される皆様のお楽しみのひとつとして受け入れられれば嬉しいですし、参加店においてもほたる祭り期間中の売上拡大のための仕掛けとして大いに活用されることを願うものです。コロナ禍の4年間のブランクを乗り越え新しくチャレンジした取り組みが、今後地域の皆様に浸透し、新しいほたる祭りの魅力として定着していくことを願っています。

## 工業部会「テクノロジーチナガノ登録促進事業」

長野県産業振興機構が運営する365日24時間のバーチャルマッチングサイト(販路拡大のための取引業者とのマッチングサイト)への登録促進事業を今年度から始めました。その事業者向け説明会、動画制作会社向け説明会を5月30日に開催しました。

サイトへの自社の技術情報の登録とアピールには技術紹介動画の掲載が有効なのですが、その制作費の半額(最大4.5万円)を補助する事業です。今年は4社が利用を希望されました。アフターコロナで経済活動が活発化する中、将来の成長に向けて販路拡大に取り組む製造業者を応援します。

## 事業スキーム



